

銘柄分析レポート：砂漠のなかの一輪の花

1. はじめに

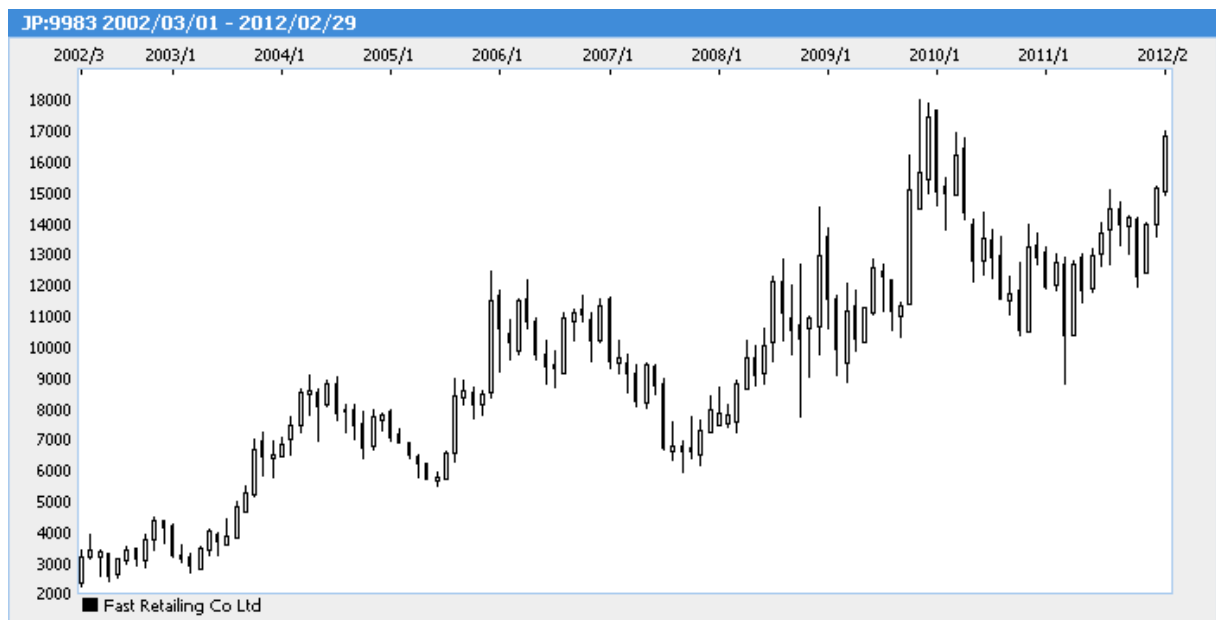
偉大なるファンドマネジャー、ピーター・リンチは著書『ピーター・リンチの株式投資の法則』にて次のように述べています。

私はいつでも投資対象としては人気業種より斜陽産業を優先することになっている。斜陽産業のなかでは、ある会社はゆっくりと成長しているが、弱者は脱落していき、残存者は大きなマーケットシェアを得ることになる。不活発なマーケットのなかでそのシェアを継続的に増加させることができる企業は、マーケットシェアを減少させないよう努力しなければならない企業よりはるかに裕福である。

私自身、この言葉に強い感銘を受け、日本株の中で斜陽産業（あるいは成熟産業）の成長企業を探し求めてきました。

今回の銘柄分析レポートでは、そんな「砂漠のなかの一輪の花」銘柄を取り上げます。

★ファーストリテイリング（9983） 株価チャート



ユニクロの登場する前、カジュアルウェアはスーパーの衣料品売り場や街のジーンズショップで「何となく」売られていました。そんな「元気がない」マーケットだったことが、ユニクロ快進撃の理由の一つです。